

説教余滴      ラッセル・ウイルソン、

アメリカで人気を二分するプロスポーツと言えば、野球とアメリカン・フットボールです。

日本人が多く生活する北西部シアトルには双方の領域で、人気球団があります。野球では、シアトル・マリナーズ。日本人選手イチロー選手が活躍しました。フットボールでは、シアトル・シーホークです。人口600万程度で二つの人気球団を支持するのは大変なことだろう、と感じます。シアトルは、代表的な現代企業発祥の地なのです。マイクロソフト、アマゾン、スターバックス、ボーイング、だれでも聞いたことのある世界的企業です。ヒト、カネ、モノが集まる土地です。

2014年、シアトルシーホークスが、全米のトップチームを決めるスーパーボールに出場し、優勝しました。対戦相手、デンバーブロンコス優位の下馬評を覆す見事な試合運びでした。

4年目のヘッドコーチ、キャロルの指導。2年目のヘッドクォーター、ラッセル・ウイルソンの果敢な活躍には驚かされました。

彼の先祖は、アメリカ連合国の奴隷であり、南北戦争で解放された。またネイティブアメリカンの血も少し混ざっている。

ウイルソンの祖父は、バージニア州立大学の学長を勤めた。

彼の父親は、弁護士で、母親は看護婦で特に legal nurse consultant (LNC) (弁護士の補助をして医療裁判に対応する仕事) の資格を持ちます。野球とフットボールへの熱意は親子三代。

ウイルソンは信心深いクリスチャンです。背番号の3はキリスト教のトリニティ三位一体に因んでいます。

オハイオ州シンシナティで生まれた彼は、バージニア州リッチモンドで育った。3歳の時に野球を始め、4歳の時に父親や兄とフットボールを始めました。大学卒業時、野球とフットボール両方からオファーがあり悩みました。その時彼の耳に神の声が聞こえたそうです。

『自分にとって困難な道を選びなさい。』